

小規模多機能型居宅介護 サービス評価  
【小規模多機能型居宅介護事業所 心】

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー

川野、小島、森、春田、伊勢、井上、西川、木下、浦口、齊藤、河本、木村、畑井、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	7人	0人	0人	14人

前回の改善計画

ご家族との関係を強化するために、毎月発行している「心便り」にご利用者の通いサービスでの様子を細かく記載したり、電話などにご利用者の様子や困りごとなどを伺う。

前回の改善計画に対する取組み結果

概ね介護計画に沿う取り組みができていた。家族から心便りの感想を伝えてもらったり、「心便りがあることで様子が分かり有難いです」と言っていた。又、家族から利用者の自宅での生活風景などを知ることができケアに活かすことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	6	0	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	8	0	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	10	4	0	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	9	5	0	0	14

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

朝礼や夕方のミーティング、アセスメントシートなどで、情報共有を図る意識づけは高まっている。又、送迎時に家族と顔を合わせた時には、こちらから「お変わりありませんか」や時節の挨拶などをし、何気ない会話の中から自宅での様子を聞くことができている。心便りの内容からも日常の様子が分かるようになっている。  
利用を開始して間もないご利用者には、事業所スタッフが寄り添い、心理面での支えも行っている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

家族との接点が少なく、送迎時にお会いできても短時間の為、関係づくりが中々図れていない。特に対話が不足する傾向にあり、問題が生じてからのやり取りになりがちである。又、家族の方もスタッフと話すのを遠慮されている様に感じることもある。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

家族との関係強化の為に、日頃から利用者個人のケース記録に、どんな事を話したか、どんな事を通いサービスで行ったのかなどを細かく書き留めスタッフ間で共有し、送迎の時や家族から聞かれた際には、伝えられるようにしておく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月25日(18:00~19:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 川野、小島、森、春田、伊勢、井上、西川、木下、浦口、齊藤、河本、木村、畑井、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	3人	0人	14人

前回の改善計画
朝夕のミーティング時に、ご利用者の当面の目標である「～したい」を共有し、一覧に纏めていつでも見やすい場所に掲示する。新たな目標が表出されたら、朝夕のミーティング時かスタッフ会議で話し合う。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者の「～したい」を個人のケア記録に残し、スタッフ会議などで共有し、どうしたら実現できるのか話し合いができた。ある利用者は「手の痺れがあるが、また編み物がしたい」と痺れる手の生活リハビリに取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	8	4	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	8	2	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	4	9	1	0	14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5	8	1	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日頃の会話から「～したい」などを聞くと、朝礼や振り返りでどのようにすれば実行できるのかなどを職員間で話し合う機会が増えた。また、話し合うだけでなく、利用者の思いに応えられる機会を持つことが出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
スタッフ一人ひとりが、ご本人の目標や「～したい」が把握しきれずにいる。理由としては、日々の記録の中に埋もれていることが多かったり、チームとして話し合ったり意見交換をする場が少ないことがあげられる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者の「～したい」や「目標」を考える時間や共有する為に、月に1度のスタッフ会議の中でカンファレンスの時間を設ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月25日(18:00~19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 川野、小島、森、春田、伊勢、井上、西川、木下、浦口、齊藤、河本、木村、畑井、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	10人	0人	0人	14人

前回の改善計画	必要な情報を必要な時に見返せる方法を模索する必要がある。ケア記録の書き方や書式の見直しが必要と考えられる。
前回の改善計画に対する取組み結果	スタッフの意見を元に業務日誌、ケース記録、看護記録の書式を見直し、書きやすく見やすい形に変更した。訪問記録は、複写式に変更し簡潔に記入できるように変更した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	6	7	1	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	8	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	4	10	0	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	10	4	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6	8	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者の気持ちや体調の変化に常に気付けるよう心掛けている。変化があった場合は、即座に見返せるようケア記録に日々のちょっとした気づきも記入できている。また、スタッフ同士で情報の共有の意識が高まっている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者によって、得ている情報量に差が生じており、「以前の暮らし方」が10個以上把握できている方もいれば、そうでない方もいる。理由としては、聞き取りは出来ていると思うが、その情報を必要とする時に即座に見返すことができない点が挙げられる。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用者の日常生活動作(ADL)の把握が曖昧な部分があり介助し過ぎている事があるので、1日の振り返りの時やスタッフ会議で、話し合い情報の統一を図る。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月25日(18:00~19:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 川野、小島、森、春田、伊勢、井上、西川、木下、浦口、齊藤、河本、木村、畑井、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	5人	4人	1人	14人

前回の改善計画  
スタッフ会議や事業所内研修で、ご利用者の住む地域の自然資源のほか、特定の地域に存在する特徴的なものを資源として活用可能な物と捉え、人的・人文的な資源とは何かを学ぶ機会を持つ。

前回の改善計画に対する取組み結果  
月に1度のスタッフ会議で、利用者の「環境」についてグループワーク(ディスカッション)を行い利用者のできる能力(残存機能)を活かす為の方法やスタッフはどこを支援するのかなど、具体的に話し合い実践に繋がった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	7	4	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	5	7	2	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	10	3	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	7	4	0	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
近所の方、民生委員、事業所より管理者・介護支援専門委員が出席し独居の利用者の情報共有の場を持つことができた。最近では、ご近所の方が独居利用者のゴミ捨てなどを気にかけて下さるようになっている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
ご本人を取り巻く地域資源の把握には十分に眼が向いていないのが実情である。理由としては、地域資源について学ぶ・考える機会が少なく、自発的に意識したり学ばない限り、地域資源活用に眼が向きにくいと思われる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
内部研修や月に1度のスタッフ会議で定期的に利用者のカンファレンスの機会を設け、地域資源の活用について意識的に学ぶ時間を持つ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月25日(18:00~19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 川野、小島、森、春田、伊勢、井上、西川、木下、浦口、齊藤、河本、木村、畑井、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	11人	1人	0人	14人

前回の改善計画	ご利用者の生活上(防犯や防災含む)の課題が生じた際に、事業所だけでは支えきれず地域住民の方々の助けを必要とする事案を想定した話し合いの場(スタッフ会議など)を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の近隣の住民の方々に状況(家族や後見人の了承の上)を伝えたり、内部研修を通して利用者の生活上の課題(防災や防犯など)などを見直す場を設けることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4	6	4	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	12	2	0	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	10	4	0	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	10	3	1	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者やご家族の状況や体調に合わせて、「通い」「泊り」「訪問」を組み合わせ調整できている。ご利用者やご家族の不安や悩みに耳を傾け少しの変化も見逃さず情報を共有し、柔軟に支援している。又、介護支援専門員と事業所スタッフがそれらを察知・把握・状況に合わせて実行できるように日頃から意見を通わせ、意識を統一している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ご本人を取り巻く地域資源の把握には十分に眼が向いていないのが実情である。理由としては、地域資源について学ぶ・考える機会が少なく、自発的に意識したり学ばない限り、地域資源活用に眼が向きにくいと思われる。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) スタッフ会議や事業所内研修で、ご利用者の住む地域の自然資源のほか、特定の地域に存在する特徴的なものを資源として活用可能な物と捉え、人的・人文的な資源とは何かを学ぶ機会を持つ。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月25日(18:00~19:30)

6. 連携・協働

メンバー 川野、小島、森、春田、伊勢、井上、西川、木下、浦口、齊藤、河本、木村、畑井、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	3人	2人	14人

前回の改善計画	コロナ禍であるが、今までと違った視点で、関りなどが持てないか模索していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度も新型コロナウイルスの影響により、計画していた地域の方々に参加していただける行事を開催することが出来なかった。又、運営推進会議は書面での報告のみであった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	7	3	1	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	5	2	5	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	1	2	11	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	2	5	6	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の回覧板にて、職員の募集を行い地域の方の応募があり就労に結び付いた。また、毎月発行の「心便り」に毛糸やタオルの寄付の案内を掲載すると地域の方より、心温まるお手紙と共に寄付を頂き交流が図れた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
今年度も新型コロナウイルスの影響により、計画していた地域の方々に参加して頂ける行事を開催することは殆どできなかった。また、地域やその他のイベントなどにも参加することができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
コロナ禍であるが、感染対策を図りながら地域の方々やその他の方が事業所を訪れる機会を模索していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月25日(18:00~19:30)

7. 運営

メンバー 川野、小島、森、春田、伊勢、井上、西川、木下、浦口、齊藤、河本、木村、畑井、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	2人	11人	14人

前回の改善計画	新型コロナウイルス対策として、密閉・密集・密接を避ける為、地域の方々を招いた行事は開催できていない。
前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナウイルスの感染対策を講じながら、年末に地域の方々を招いて餅つきを行うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	8	3	1	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	9	0	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	8	2	0	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	7	3	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること スタッフ会議などで、どのようにすればご利用者も職員も楽しめるのか伝えることができている。又、地域の方々から、布やタオルの寄付を募り、ご利用者とスタッフが一緒になり、雑巾を縫ったり髪飾りのシュシュ、コースターを製作し、玄関に展示している。月に1度、「心便り」を作り、事業所の取り組みなどを記載し、地域の方々に回覧いただいている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の方から意見を伺う機会が持てていない。今年度は、新型コロナウイルス対策として、地域の方々を事業所へ呼ぶことが出来なかった。ボランティアの方々も来てもらえなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 新型コロナウイルスの感染状況などを見極めながらになるが、地域の方々を招く行事を実施したいし、スタッフが地域に出向いて交流を深めていきたい。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月25日(18:00~19:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 川野、小島、森、春田、伊勢、井上、西川、木下、浦口、齊藤、河本、木村、畑井、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10人	3人	1人	0人	14人

前回の改善計画	スタッフ個々の目標に応じた外部研修の参加促進と事業所内研修を定期的実施しスキルアップを図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	スタッフとの個人面談時に目標を設定し、その目標の即した外部研修に参加できた。又、事業所内研修を毎月開催し、個々にスキルアップの場が設けられたのではと考える。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	12	1	1	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	8	3	1	2	14
③	地域連絡会に参加していますか	2	2	1	9	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6	8	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
積極的に外部研修を受講している。受講した職員はスタッフ会議で、何を学んできたのか他のスタッフへ伝達研修を実施している。又、毎月内部研修を実施し外部からも講師を招いて、個々のスキルアップの場となっている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
どんな外部研修が実施されていて、いつ・どこであるのか個々に伝えきれておらず受講の意思確認も限られた職員だけになっていた。又、職員個々の目標に応じた研修案内も全職員に行えていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今年度と同様に来年度も内部研修を継続的に実施し、学べる機会を一つでも多く提供していくと共に、学びたいテーマをスタッフから聞き取り反映させてく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月25日(18:00~19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 川野、小島、森、春田、伊勢、井上、西川、木下、浦口、齊藤、河本、木村、畑井、松田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	7人	2人	0人	14人

前回の改善計画
排泄や入浴へお誘いする時は、耳元で声を掛けるか、他のご利用者から離れた場所で小声で伝えるように改善する。
前回の改善計画に対する取組み結果
概ね改善計画に沿う取り組みができていた。尊厳や自尊心を損なわない配慮が意識的にできていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	10	4	0	0	14
②	虐待は行われていない	13	1	0	0	14
③	プライバシーが守られている	3	11	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	12	2	0	0	14
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5	9	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束ゼロが実現できている。内部研修などを通して、スタッフ一人ひとりが身体拘束について学び実践に活かしている。又、スタッフ一人ひとりがプライバシーの保護の意識が高まり自発的に行動に移している姿も見受けられた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
介助を必要とする利用者への排泄、入浴、食事などのへお誘いする時のスタッフの声のトーンが大きく周りの利用者から「この人、一人でできない」などと言われる場面があり、スタッフのプライバシーに対する配慮が必要である。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
排泄や入浴へお誘いする時は、耳元で声を掛けるか、他のご利用者から離れた場所で小声で伝えるように改善する。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 宅老所 心	代表者	村田美穂子	法人・ 事業所 の特徴	日中、訪問、夜間とそれぞれ違う場面でも顔なじみのスタッフによる連続性のあるケアで、自宅での継続した生活を支援いたします。 通いサービスでは利用者がやりたいことを出来るだけ支援できるように、畑作りを始めたり、利用者には継続的にアクリルたわしや雑巾づくりを進めてもらい出来上がった物は、近隣の教育機関へ寄贈させていただきました。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護事業所 心	管理者	川野 良太		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	0人	0人	1人	1人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価表の改善計画の回覧に加え、自然と意識できるように、スタッフ会議などで話し合う。	スタッフ会議で、グループワークを行い改善点などを話し合う場を設けられ、以前に比べ意識づけができた。	今年度は、新型コロナウイルス感染対策の為、運営推進会議が開催できず意見が聞けていない。	自己評価表の改善計画が意識できるよう定期的にスタッフ会議で、見直したり話し合う。
B. 事業所のしつらえ・環境	公民館の鍵の保管は継続する。玄関に、事業所として取り組んでいることを掲示したり、地域の方々に事業所へ気軽に立ち寄って頂けるようにスタッフから声を掛ける。	事業所の玄関に、行事の様子や取り組んでいる物を掲示している。また、地域の方が季節に応じたちぎり絵を事業所に貸して下さり、飾らせていただいた。	今年度は、新型コロナウイルス感染対策の為、運営推進会議が開催できず意見が聞けていない。	公民館の鍵の保管は継続する。AED の設置も継続し、地域の方々に事業所のことや取り組みを知って頂く為、スタッフから発信していく。
C. 事業所と地域のかかわり	広報誌の内容に、困りごとや相談ができることを掲載し、地域の方々にもっと事業所を知ってもらえるように、地域の行事などにも積極的に参加していく。	地域向けの広報活動は、毎月1度発行している「心便り」のみであるが、地域での野菜販売に参加させてもらい地域の方々と交流の機会ももてた。	今年度は、新型コロナウイルス感染対策の為、運営推進会議が開催できず意見が聞けていない。	地域に根ざした事業所になるべくスタッフから、どんどん地域の活動へ積極的に参加していく。地域資源の活用にも目を向けていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	法人本部事業である子ども食堂・地域居酒屋への職員の参加の可能性を検討する。又、地域の催しなどへの参加は継続する。	本年度は、コロナウイルス感染予防の為、軒並み中止や延期が相次ぎ参加には至っていない。次年度に、改善計画を持ち越すこととする。	今年度は、新型コロナウイルス感染対策の為、運営推進会議が開催できず意見が聞けていない。	新型コロナウイルスの状況を見ながらではあるが、地域の催しに参加したり、交流の場を持てるように支援する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議において、地域包括支援センターなどからの地域課題の投げかけなどについて、事前に調整を行う。又、事業所スタッフの会議の参加をすすめる。	本年度は、コロナウイルス感染対策の為、対面での運営推進会議が開催できず書面での報告を行った。次年度に、改善計画を持ち越すこととする。	今年度は、新型コロナウイルス感染対策の為、運営推進会議が開催できず意見が聞けていない。	事業所スタッフが運営推進会議に参加できるように進める。又、運営推進会議で投げかけられた課題などに取り組み、どうだったのかも運営推進会議で報告したい。
F. 事業所の防災・災害対策	防災訓練の年間2回以上の実施と内1回は消防署員立ち合い訓練を実施する。スタッフへの防災計画の周知・徹底を図る。	防災訓練は実施できた。又、内部研修で「災害・防災」について学ぶ機会を持ち外部から講師を招いた。	今年度は、新型コロナウイルス感染対策の為、運営推進会議が開催できず意見が聞けていない。	地域の防災担当の方と「もしもの時」の情報交換をおこなう。